

新たな戦略の策定及び既存の戦略の改訂について

1. 背景

現戦略は本県での競技開催決定前に策定されたものであることから、大会開催地となることを踏まえた取組等の検討を進め、年内を目途に戦略の改訂等を行う。

2. 新たな戦略及び改訂の内容

新たに「競技会場にふさわしい環境の整備」「オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進」「大会開催効果の全県への波及」を柱とする「戦略0 大会の成功・開催効果の全県への波及（仮称）」（別添イメージ参照）を策定するとともに、既存の9戦略を改訂する。

3. 専門部会0の設置

戦略0を検討する専門部会として、「部会0 大会の成功・開催効果の全県への波及」を7月7日に設置した。戦略0に盛り込まれる事項は多岐にわたり、既存の1～9の部会の検討項目も含まれることから、部会0を中心に、各部会の検討内容も踏まえながら戦略0を取りまとめる。

①部会0の役割

- ・各部会の検討内容も踏まえた、戦略0の検討・とりまとめ。
- ・「会場及び周辺地域の環境整備」「会場周辺地域の活性化」「幕張の国際的ブランドイメージの構築」等の検討。
- ・関係団体間の情報共有や連携した取組の推進。

②構成団体

開催都市・会場	千葉県※、千葉市、(株)幕張メッセ
新都心立地企業	幕張新都心まちづくり協議会
交通・輸送	京成電鉄(株)、千葉県タクシー協会、千葉県バス協会、成田国際空港、東日本旅客鉄道(株)千葉支社
おもてなし・宿泊・観光	千葉県園芸協会、千葉県観光物産協会、ちば国際コンベンションビューロー、千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合、日本旅行業協会関東支部千葉県地区委員会
危機管理	関東管区警察局

※政策企画課（オリパラ班、地域振興班）、空港地域振興課、交通計画課、健康福祉指導課、障害福祉課、経済政策課、観光企画課、生産振興課、県土整備政策課、建築指導課、公園緑地課、教育政策課、土地・施設管理課、警備課、交通総務課

<目標>

平成27年6月に開催されたIOC理事会において、幕張メッセをレスリング、テコンドー、フェンシングの競技会場とする会場計画が承認されました。県内で開催される大会を成功させることは、本県の国際的な魅力を高めるとともに、スポーツの振興、国際交流の推進、幕張メッセの競争力強化などの絶好の機会となります。

選手達が大会で最高のパフォーマンスを発揮できるよう、組織委員会と連携を図りながら、会場の整備を進めるとともに、大会開催を機に訪れる多くの人々が快適に観戦や観光を楽しめるよう、周辺施設のバリアフリー化や多言語対応、危機管理・安全対策の推進を図り、オリンピック・パラリンピック会場にふさわしい環境を整備します。

また、産学官民が一体となったオール千葉体制で大会を大いに盛り上げるため、多くの県民の大会への参加や理解の促進を図るとともに、学校におけるオリンピック・パラリンピック教育を充実すること等により、大会に向けた機運を高め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進を図ります。

さらに、本県で大会が開催されるチャンスを捉え、事前キャンプの誘致や文化プログラムの実施など、県内全域でオリンピックに関連する活動を推進することにより、大会の開催効果を全県へ波及させることを目指します。

<主な取組>**○オリンピック・パラリンピックの競技会場にふさわしい環境の整備****・会場及び会場周辺の施設整備****□幕張メッセの施設改修**

(幕張メッセの施設改修、バリアフリー、多言語対応など)

□会場周辺の施設改修

(バリアフリー、多言語対応、公衆無線LAN、トイレ整備・美化、案内表示の充実など)

□交通・輸送

(オリンピックレーンの設置、観客誘導方法の検討など)

・受入体制の整備と会場周辺地域の活性化**□大会関係者や観戦客等へのおもてなし力の向上**

(外国人とのコミュニケーション力の向上、バリアフリー関連情報の充実、花による景観形成、外国人観光客等への情報提供の強化など)

□会場周辺地域の活性化

(幕張新都心の賑わいづくり・魅力向上など)

□幕張の国際的ブランドイメージの構築

(五輪開催地としての都市イメージ向上、魅力の発信など)

・危機管理・安全対策

- テロ等違法行為の未然防止
(警備体制の強化(競技会場、空港、港湾、公共交通機関など)、サイバーテロ対策など)
- 健康危機管理対策
(感染症対策、熱中症対策など)

○オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進

・ボランティア参加の促進

- 大会ボランティア参加の促進
(大会ボランティア参加の促進、ボランティア確保への協力など)
- 都市ボランティアの養成・確保
(都市ボランティアの養成・確保、主要空港・駅・観光地での観光・交通案内)

・大会機運の醸成

- 大会機運の醸成
(県内開催3競技の普及、オリパラ関連イベントの開催、事前キャンプにおける交流イベントの実施など)
- オリンピック・パラリンピック教育の推進
(JOCやパラリンピックサポートセンターとの連携によるオリンピック・パラリンピック教室の実施)
- 組織委員会等と連携したエンゲージメントイベントの開催
(パブリックビューイングの開催など)

○大会開催効果の全県への波及

・オリンピック関連プログラムの推進

- 文化プログラムの実施
(文化プログラム実施による千葉県の文化・芸術の発信)
- ホストシティ・タウンの推進
(ホストシティ・タウン構想に基づく大会参加国との相互交流の推進)

・大会開催を契機とした取組の推進

- 事前キャンプの誘致
(幅広い地域での事前キャンプ受入)
- 大会を機に訪れる人々が県内を周遊する仕組みづくり
(千葉県オリジナル観光コースの作成など)

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「オール千葉」体制図

2020年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA 推進会議

推進会議

会 長：森田千葉県知事

議 長：石井商工会議所連合会会長 副議長：新倉千葉大学教授

委 員：各分野の代表者（経済、交通、観光、スポーツ、文化、国際交流、行政）

目 的：官民連携による取組を実施するための戦略の策定・推進を統括する

専門部会

0. 大会の成功・開催効果の全県への波及専門部会

< 構成員：幕張新都心立地企業、観光・宿泊・交通の各関係団体、幕張MICE、千葉市、県 >

1. キャンプ・国際大会・MICE誘致専門部会

< 構成員：スポーツ・旅行・観光・宿泊・国際会議の各関係団体、大学、市町村、県 >

2. 競技力の向上・スポーツの普及専門部会

< 構成員：スポーツ関係団体、大学、市町村、県 >

3. 成田空港の利便性向上、交通ネットワーク・アクセスの強化専門部会

< 構成員：交通関係団体・事業者、官民連携組織、県 >

4. バリアフリー化の促進専門部会

< 構成員：交通関係団体・事業者、宿泊・福祉・スポーツの各関係団体、市町村、県 >

5. 魅力ある観光地づくり専門部会

< 構成員：観光・宿泊、旅行、交通、商工、医療、国際会議の各関係団体・事業者、大学、市町村、県 >

6. 外国人受入体制専門部会

< 構成員：観光・宿泊、旅行、交通、商工、医療、国際交流、文化の各関係団体・事業者、大学、市町村、県 >

7. 危機管理・安全対策専門部会

< 構成員：医療・衛生・防犯・警備の各関係団体、県 >

8. 機運の醸成・国際交流の促進専門部会

< 構成員：国際交流、ボランティア、文化、教育の各関係団体、大学、市町村、県 >

9. 千葉の魅力発信専門部会

< 構成員：報道機関、県 >

※専門部会の設置及び構成員については、今後の状況に応じて柔軟に対応する。